

Early AD/MCI Alzheimer's Cognitive Composite

Form 1

治験実施計画書

施設番号

スクリーニング番号

無作為化割付番号

評価日

評価者

Judith Jaeger, PhD, Clint Hagen, MS, Henrik Loft, PhD, Yen Ying Lim, PhD, Andrew Aschenbrenner, PhD, Marta Segerdahl, MD, PhD, Gary Tong, MD, PhD, Michelle Mielke, PhD, Jason Hassenstab, PhD, Nikki Stricker, PhD

© MedAvante-ProPhase - Programming and Presentation Design 2022



著作権および参考文献に関する記述

Wechsler Adult Intelligence Scale - Fourth Edition (WAIS-IV).Copyright © 2008 NCS Pearson, Inc. Reproduced by permission.All rights reserved.

Reitan, R. M. (1958)."Validity of the Trail Making test as an indicator of organic brain damage".Percept.Mot Skills.8:271–276

Delis-Kaplan Executive Function System™ (D-KEFS™). Copyright © 2001 NCS Pearson, Inc. Japanese (Japan) non-standardized research translation © 2022 NCS Pearson, Inc. Adapted and reproduced with permission of publisher. All rights reserved.

Delis-Kaplan実行機能システム(D-KEFS)

言語流暢性検査

D-KEFS文字流暢性

用具

• ストップウォッチ

文字流暢性条件では、以下のプロンプトを使用する。

- 15秒のインターバルが経過しても受検者が回答しない場合は、次のように言う: **その まま続けてください**。このプロンプトは系列1つにつき1回しか行わない。
- 受検者が指定された文字で始まらない単語を3つ連続で答えたら、次のように言う:今使っている文字は _____です。このプロンプトは系列1つにつき1回しか行わない。



プロンプトを出している間もストップウォッチを止めない。

第1系列

これから50音の中の文字を1つ言います。私が「始め」と言ったら、その文字で始まる言葉をできるだけ多く教えてください。60秒が経過したら私が「終了」と言います。人や場所の名前や数字ではない言葉を言ってください。たとえば、私が「さ「という文字を指定した場合、「魚」、「サラダ」、「触る」などは言ってもいいですが、「佐藤」とは言えません。人の名前だからです。また、「さいたま」とも言えません、場所の名前ですから。また、「30」とも言えません。数字だからです。また、最後が違うだけの同じ言葉を答えることはできません。たとえば、「触る」と答えたら、さらに「触れ」や「触って」と答えることはできません。何か質問はありますか?

最初の文字は「あ」です。用意、始め。

[時間を計り始める。記録ページに受検者の回答を逐語的に書く。受検者が最初の15秒間に出した回答を1列目(「1~15秒」と記された列)に、次の15秒間に出した回答を2列目(「16~30秒」と記された列)に記録し、さらにその後の回答を続くページの3列目、4列目に記録する。60秒が経過したら、次のように言う。〕

終了。

第1系列

第1インターバル:1~15秒	第2インターバル:16~30秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
□ 正答なし		□ 正答なし				

第1系列

第3インターバル:31~45秒	第4インターバル:46~60秒					
□ 無回答		□ 無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
□ 正答なし		□ 正答なし				

EMACC Form 1

D-KEFS文字流暢性

第2系列

次のように言い、文字を紹介する:

次の文字は「お」です。用意、始め。

[時間を計り始める。第1系列の説明に従って受検者の回答を記録する。60秒が経過したら、次のように言う。]

終了。

第2系列

第1インターバル:1~15秒	第2インターバル:16~30秒					
□ 無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
□ 正答なし		□ 正答なし				

第2系列

第3インターバル:31~45秒	第4インターバル:46~60秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

EMACC Form 1

D-KEFS文字流暢性

第3系列

次のように言い、文字を紹介する:

次の文字は「か」です。用意、始め。

[時間を計り始める。第1系列の説明に従って受検者の回答を記録する。60秒が経過したら、次のように言う。]

終了。

第3系列

第1インターバル:1~15秒	第2インターバル:16~30秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

第3系列

第3インターバル:31~45秒	第4インターバル:46~60秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

カテゴリー流暢性条件では、以下のプロンプトを使用する:

- 15秒のインターバルが経過しても受検者が回答しない場合は、次のように言う: **そのまま続けてください。**このプロンプトは系列1つにつき1回しか行わない。
- 受検者がカテゴリーに適合しない単語を3つ連続で答えたら、次のように言う:今使っているカテゴリーは _____です。このプロンプトは系列1つにつき1回しか行わない。



プロンプトを出している間もストップウォッチを止めない。

第1系列

今度は少し違ったことをします。今度は、できるだけたくさんの 動物を教えてください。それがどの文字で始まるかは関係ありません。 60秒が経過したら私が「終了」と言います。何か質問はありますか? 用意、 始め。

[時間を計り始める。記録ページに受検者の回答を逐語的に書く。前回と同じように、 受検者の回答を適切な15秒インターバルの列に記入する。60秒が経過したら、次のよう に言う。]

終了。

第1系列

第1インターバル:1~15秒	第2インターバル:16~30秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

第1系列

第3インターバル:31~45秒	第4インターバル:46~60秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

第2系列

次のように言ってカテゴリーを紹介する:

では、男性名をできるだけ多く挙げてください。60秒が経過したら 私が「終了」と言います。用意、始め。

[時間を計り始める。第1系列の説明に従って受検者の回答を記録する。60秒が経過したら、次のように言う。]

終了。

第2系列

第1インターバル:1~15秒	第2インターバル:16~30秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

第2系列

第3インターバル:31~45秒	第4インターバル:46~60秒					
無回答		無回答				
	正答		正答			
1.		1.				
2.		2.				
3.		3.				
4.		4.				
5.		5.				
6.		6.				
7.		7.				
8.		8.				
9.		9.				
10.		10.				
11.		11.				
12.		12.				
13.		13.				
14.		14.				
15.		15.				
■ 正答なし		□ 正答なし				

Wechsler成人知能検査 – 第4版(WAIS-IV)

記号/符号の下位検査

<u>用具</u>

- ストップウォッチ
- 削ってある鉛筆
- 符号ワークシート

例示問題



受検者が理解するまで、検査問題には進まない。

符号のワークシートを削ってある鉛筆と一緒に受検者に提示し、次のように言う:

次に、いくつかの記号を写していただきます。

受検者に対して必ず**最初の3つの**例示問題を行うこと。検査問題の上にある見本を指さし、1から9までの数字を示す。次のように言う:

この四角の欄を見てください。上の四角には数字が書いてあり、下の四角には決められた記号が書いてあります 「見本の1とその記号、続いて2とその記号を指し示す」。

例示問題を指さして,次のように言う。

上の四角には数字がありますが,下には何もありません。そこで空欄に,数字の下の記号を書いていきます。

[一時停止 - 残りの説明をするためにページをめくる]

例示問題

最初の例示問題(6)を指し、見本を指して対応する記号を示す。次のように言う:

ここに6があります。6にはこういう記号がついています。そこで,この四角にはこの記号を書きます[記号を書く]。

2つ目の例示問題(8)を指し、見本を指して対応する記号を示す。次のように言う:

ここに8があります。8にはこういう記号がついています。そこで,この四角にはこの記号を書きます[記号を書く]。

3つ目の例示問題(3)を指し、見本を指して対応する記号を示す。次のように言う:

ここに3があります。3にはこういう記号がついています。そこで,この四角にはこの記号を書きます「記号を書く]。

EMACC Form 1

WAIS-IV符号

練習問題



受検者が練習問題で間違えた場合はすぐに正答を教える。

練習問題を指す。次のように言う:

では, この太線までやってみてください [練習問題と検査問題の境界線を示す太い線を 指す]。

残りの6つの練習問題には受検者に1人で取り組んでもらう。

受検者が練習問題で間違えた場合は、符号の見本を使ってすぐに正答を教える。 必要であれば、受検者が6つの練習問題すべてに正しく回答できるまで支援し続ける。

受検者が練習問題を正しくできた場合は,

「そうです」あるいは「そのとおり」のような褒め言葉を使い、最後に「やり方がわかりましたね」と言う。

検査問題



必要に応じて励ましたり注意を促したりするが、時間測定は止めない。 **120秒**が経過したら受検者の成績を記録する。

回答者が練習問題を正しくできた場合は、次のように言う:

「始めてください」と言ったら、今と同じようにやってください。ここから始め [最初の練習問題を指す]、順番に、とばさないでやってください。「終わりです」と言うまで、できるだけ早く、間違えないようにやってください。よろしいですか?始め! [時間を計り始める]

受検者の自発的な訂正は、この訂正がたびたび繰り返され、課題の遂行を妨げているものでなければ、制止する必要はない。

消しゴムは使用しない。受検者が間違えたときにどうすればよいか尋ねた場合は, 「そのままで構いません。できるだけ早く続けてください」と言う。

受検者が問題をとばした場合や、問題を逆順に(受検者から見て右から左に向かって) やり始めた場合には、次のように言う:**順番にやってください。とばさないでやってく ださい**。最初にとばした問題を指さして、「**この問題をやってください**」と言う。

必要であれば、順番に進め、作業を続けるよう受検者に注意を促す。それ以上の援助は 行わない。

[次のページに進み受検者の作業内容を記録する]

採点



受検者の作業ぶりをよく観察する。受検者が問題を飛ばしたり順序を変えて答えないようにする。

120秒が経過したら下欄および符号ワークシートにどこまで完了したかを記す。

120秒が経過した時点で受検者がまだ回答を完了していない場合は時間測定を止め、終わりですと言う。

135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123	122	121	120	119	118
١	6	2	Þ	8	9	2	2	ε	8	9	3	7	9	6	L	Þ	9
117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100
Þ	3	2	9	L	L	9	6	2	9	L	Þ	8	L	6	8	9	3
99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82
3	2	L	Þ	9	g	3	L	8	6	9	2	Þ	ı	g	6	L	8
81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64
6	9	9	8	Þ	3	9	2	6	7	L	8	2	3	L	Þ	9	L
63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46
Þ	9	9	8	2	7	8	2	Þ	L	9	7	6	3	9	6	3	L
45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
ε	8	2	L	ε	Þ	9	8	9	6	9	9	2	7	Þ	2	L	6
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
9	9	7	Þ	L	8	6	2	7	3	Þ	9	9	2	6	L	3	8
9	8	7	6	5	4	3	2	1									
9	3	6	9	7	2	8	t	L	2	7	1	Þ	9	6	3	8	9

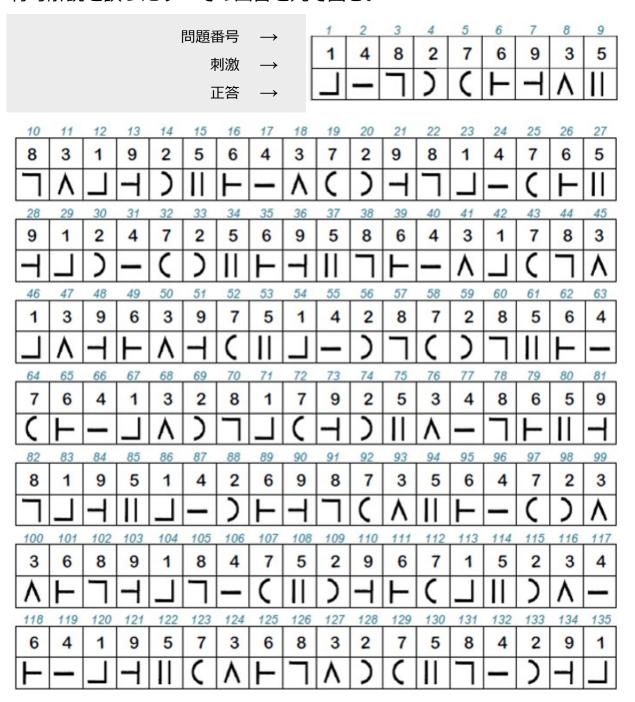
題問示例

採点



評価が完了するまで採点しないこと。

符号解読を誤ったすべての回答を丸で囲む。



120秒で正しく解読された 記号の合計数

WAIS-IV着	符号
----------	----

ワークシートの画像撮影

評価の完 下に示す	符号ワーク	クシートの	の画像を撮	影してく	ださい

Wechsler成人知能検査 – 第4版(WAIS-IV)

数唱

一般的な手順

数唱は「数唱順方向(順唱)」と「数唱逆方向(逆唱)」の2つの課題からなる。受検者には両方の課題を実施する。

1つの問題は2つの系列からなっている。各問題では、どちらの系列も実施する。

数字は1秒に1つの速さで読み上げ、最後の数字はやや抑揚を下げて読む。受検者が反応できるように一時停止する。

受検者が・・・

• 系列を読み終える前に答え 始めた場合 回答は止めずに、検査者は最後まで問題を読み続ける。そして、回答は適切に採点したあとで、「私が言い終わってから答えるようにしてください」と受検者に注意を与える。

系列を繰り返すよう求めた 場合 次のように言う: 「問題を繰り返すことはできません。覚えているもので答えてください」と言う。

• 1つの系列で複数の回答を した場合や,最初の回答を 自発的に訂正した場合 受検者が最終的に選択したと思われる回答のみを採点する。受検者の選択が明確でない場合は,「 [受検者の回答を挿入] と [受検者の回答を挿入] を答えましたが, どちらでしょうか] と尋ねる。

逆唱の練習問題では回答の援助を行う。練習問題では,第1系列と第2系列の2系列とも誤答しても,問題1に進む。

採点ガイドライン

受検者の回答をそのまま記録する。正答は記載されている。

各系列で、受検者が正答したときに1点を与える。

各課題で、

受検者が誤った回答をした場合、または

- 「答えがわからない」と言った場合、または
- ・ 約30秒以内に回答しなかった場合は、
- 0点とする。



1つの問題の2系列とも0点のときに中止する。

EMACC Form 1

WAIS-IV数唱

問題実施 順唱

初めに、次のように言う。 これからいくつか数字〈数〉を言います。一度しか言いませんので、よく注意して聞いてください。私が言い終わったら、その数字〈数〉を同じ順序で言ってください。私の言うとおりに言えばいいのです。

問題1の第1系列に進む。



受検者の「順唱」の成績に関係なく、「逆唱」を忘れずに実施する。

順唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

<u>問題1</u>

系列	回答	0	1
9 - 7			\bigcirc
6 - 3			

問題2

系列	回答	0	1
5 - 8 - 2			\bigcirc
6 - 9 - 4			\bigcirc

順唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

77 T.I

問題3

系 列	0	1
7 - 2 - 8 - 6	\bigcirc	\bigcirc
6 - 4 - 3 - 9		

<u>問題4</u>

系列	回答	0	1
4 - 2 - 7 - 3 - 1			\bigcirc
7 - 5 - 8 - 3 - 6			\bigcirc

順唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

問題5

系列	回答	0	1

問題6

順唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

<u>問題7</u>

系列 回答 0

3 - 8 - 2 - 9 - 6 - 1 - 7 - 4

5 - 8 - 1 - 3 - 2 - 6 - 4 - 7

問題8

系列 回答 0 1

2 - 7 - 5 - 8 - 6 - 3 - 1 - 9 - 4

7 - 1 - 3 - 9 - 4 - 2 - 5 - 6 - 8

EMACC Form 1

WAIS-IV数唱

問題実施 逆唱

練習問題

第1系列

次のように言う。 今度は、私が数字〈数〉を言い終わったら、その数字〈数〉を私が言ったのとは逆の順番で言ってください。たとえば私が7 - 1と言ったら、どう言いますか?

正答 [1-7] の場合: 「そうですね」と言って, 第2系列に進む。

誤答の場合: 「少し違うようですね。私は7-1と言ったので、

逆の順番で1-7と言ってください」と言って、第2

系列に進む。

第2系列

次のように言う。 「次をやってみましょう。逆に言ってください。3-4」.

正答 [4-3] の場合: 「そうですね。それでは、いくつかやってみまし

よう」と言って、問題1へ進む。

誤答の場合: 「少し違うようですね。私は3-4と言ったので、

逆の順番で4-3と言ってください。 それでは, い

くつかやってみましょう」と言って、問題1へ進

む。

EMACC Form 1

WAIS-IV数唱

逆唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

<u>問題1</u>

系列	正答 回答	回答	0	1
3 - 1	1-3			
2 - 4	4-2			

問題2

系列	正答 回答	回答	0	1
4 - 6	6-4			
5 - 7	7-5			\bigcirc

逆唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

問題3

系列	正答 回答	回答	0	1
6 - 2 - 9	9-2-6			
4 - 7 - 5	5-7-4			

<u>問題4</u>

系列	正答 回答	回答	0	1
8 - 2 - 7 - 9	9-7-2-8			
4 - 9 - 6 - 8	8-6-9-4			

逆唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

問題5

系列	正答 回答	回答	0	1
6 - 5 - 8 - 4 - 3	3-4-8-5-6			
1 - 5 - 4 - 8 - 6	6-8-4-5-1			

問題6

系列	正答 回答	回答	0	1
5 - 3 - 7 - 4 - 1 - 8	8-1-4-7-3-5			
7 - 2 - 4 - 8 - 5 - 6	6-5-8-4-2-7			

WAIS-IV数唱

逆唱



各問題の第1系列,第2系列ともに実施する。中止条件に達していなければ、次の問題に 進む。

回答をそのまま回答欄に記録する。系列毎に0か1の得点を与える。

<u>問題7</u>

系列	正答 回答	回答	0	1
8 - 1 - 4 - 9 - 3 - 6 - 2	2-6-3-9-4-1-8			
4 - 7 - 3 - 9 - 6 - 2 - 8	8-2-6-9-3-7-4			

問題8

系 列	正答 回答	回答	0	1
9 - 4 - 3 - 7 - 6 - 2 - 1 - 8	8-1-2-6-7-3-4-9			
7 - 2 - 8 - 1 - 5 - 6 - 4 - 3	3-4-6-5-1-8-2-7			

用具

この評価を始める**前に、以下のものが揃っていることを確認すること。**

- ストップウォッチ
- (4) 枚のTMTワークシート:
 - パートA練習用シート
 - パートAテスト用シート
 - パートB練習用シート
 - パートBテスト用シート
- (2) 本の削ってある鉛筆

一般的な手順

このテストは、**パートAとパートB**の2つのパートに分かれている。 テストの各パートの スコアは、完了に要した**秒数**の合計である。

このテストを実施する際の重要な点は、受検者が手順を理解していること、そして検査者がどんな誤りでも即座に指摘することである。

各パートの制限時間は300秒(5分0秒)である。

受検者はこのテストを受ける際、できるだけ迅速に作業を行い、間違いを避けるよう努めることが重要であることを理解している必要がある。このテストを実施する上で最も多い検査者のミスは、誤りを素早く効率的に訂正しないことである。

パートA:練習問題

パートAの 練習用シートを受検者の前のテーブルに平らに置く。

受検者に鉛筆を渡し、次のように説明する:

このページに、数字がいくつか書かれています[指す]。番号1から始め [1を指す] 1 から2へ線を引き [2を指す]、2から3へ [3を指す]、3から4へ [4を指す] という風に、順番に、おわりに到達するまで [「おわり」と書いた円を指す] 線を引いてください。できるだけ速く線を引いてください。用意、始め。

受検者が練習問題を正しく完了し、何をすべきか理解していることが確認できた場合は、次のように言う:

「よくできました!次の作業をやってみましょう。」 [下のチェックボックスに印を入れ、 提供されたリンクを使って検査課題に直接進む。]



この作業ができる場合は、下のチェックボックスを選択して続行する。

受検者はパー	トAの練習	問題を正し	ノく完
了した			

受検者が練習問題で間違えた場合、直ちにその誤りを指摘し、誤りの理由を説明する。

[説明となるかもしれない例を求めて、次ページを参照する]

パートA:練習問題

説明となるかもしれない例:

- 1. **あなたは間違った円から始めてしまいました。ここがスタート地点です** [数字の 1を指す]。
- 2. **あなたはこの円を飛ばしました*** [受検者が省略した円を指す] 。 **番号1** [指す] **から2** [指す] 、2から3 [3を指す] 、という風に、「おわり」と書かれた円 [指す] に到達するまで線を引かなくてはいけません。
 - * (被検者が明らかに円に触れる意図があるのにも関わらず触れ損なった場合、順番の省略としてカウントしない。 ただし、被検者には、線を引くときにそれぞれの円に必ず触れるよう再確認させる。)

受検者が練習問題Aを完了できない場合、 受検者の手を取り、 消しゴム側を使って正しい順を通るように鉛筆を誘導する。 その後鉛筆の先を下にして受検者に返し、 次のように言う:

今度はご自分で試してみてください。いいですか。番号1から始め [指す]、1から2へ [2を指す]、2から3へ [3を指す]、3から4へ [4を指す] という風に順番に、「おわり」と書かれた円 [指す] に到達するまで線を引いてください。数字を飛ばさず、正しい順序で次の数字の円に進んでください。できるだけ速く線を引いてください。用意、始め。

この作業が成功するまで**「次ページの検査課題に進む**]あるいは受検者にはこの作業ができないことが明らかになるまで上記の手順を繰り返す。



受検者にこの作業ができない場合は、 下のチェックボックスを選択してテストを中止する。

受検者はパートAの練習問題を完了で	<u></u>
なかった	

パートA:練習トレイル

パートAのテスト 用シートを受検者の前のテーブルに平らに置き、次のように言う:

このページにはもっと数字が書いてあります。これも同じように行ってください。番号1から始め [1を指す]、1から2へ線を引き [2を指す]、2から3へ [3を指す]、3から4へ [4を指す] という風に、順番に、おわりに到達するまで [指す] 線を引いてください。できるだけ速く線を引いてください。用意、始め。 [すぐに時間を計り始める]



検査者は、受検者の誤りを直ぐに発見できるよう、受検者を注意深く見守る。

受検者が間違えた場合は**速やかに**注意を促して、最後に到達した正しい円に鉛筆を戻し、その地点からテストを継続し、次のように言う。

いえ、こちらに戻って [最後に到達した正しい円を指す] **もう一度やってみてください。**



受検者の誤りを訂正している間、時間の計測を止めないこと。

誤りは、主に所要時間が増えることにより、成績評価に反映される。

受検者がパートAを完了したら、テスト用シートを回収し、完了までの所要時間を次ページに記録する。

トレイル・メイキング・テスト(TM

パートA:採点

完了までの所要時間を(分・秒で)下に記録する。 このパートの制限時間は**300秒(5分0秒)**である。

パートA 完了までの所要時間:

分



秒



下のチェックボックスを選択して、受検者は作業を試みたものの、制限時間内に完了できなかったことを示してください。

試みたが制限時間内に完了できなかった

パートA:練習用ワークシートの画像撮影
評価の完了後、 下の受検者の練習用ワークシートの画像を撮影してください

パートA:テスト用ワークシートの画像撮影
評価の完了後、 下の受検者のテスト用ワークシートの画像を撮影してください

パートB:練習問題

パートBの 練習用シートを受検者の前のテーブルに平らに置く。

受検者に鉛筆を渡し、次のように言う:

このページに、数字と文字がいくつか書かれています。番号1から始め [1を指す] **1からAへ線を引き** [Aを指す] 、Aから2へ [2を指す] 、2からBへ [Bを指す] 、Bから3へ [3を指す] 、3からCへ [Cを指す] という風に、順番に、おわりに到達するまで [「おわり」と書いた円を指す] **線を引いてください。できるだけ速く線を引いてください。用意、始め。**

受検者が練習問題を正しく完了し、何をすべきか理解していることが確認できた場合は、次のように言う:

「よくできました!次の作業をやってみましょう。」 [下のチェックボックスに印を入れ、提供されたリンクを使って検査課題に直接進む。]



この作業ができる場合は、 下のチェックボックスを選択して続行する。

受検者はパートBの練習問題を正しく完
了した

受検者が練習問題で間違えた場合、直ちにその誤りを指摘し、誤りの理由を説明する。

[説明となるかもしれない例を求めて、次ページを参照する]

パートB:練習問題

説明となるかもしれない例:

- 1. **あなたは間違った円から始めてしまいました。ここがスタート地点です** [数字の 1を指す] 。
- 2. **あなたはこの円を飛ばしました*** [受検者が省略した円を指す] **。番号1から** [指す] **、Aから2** [2を指す] **、2からB** [Bを指す] **、Bから3** [3を指す] **、3からC** [Cを指す] **、という風に、順番に、「おわり」と描いた円** [指す] **に到達するまで線を引かなくてはなりません。**
 - * (被検者が明らかに円に触れる意図があるのにも関わらず触れ損なった場合、順番の省略としてカウントしない。 ただし、被検者には、線を引くときにそれぞれの円に必ず触れるよう再確認させる。)

受検者がパートB練習問題を完了できない場合、 受検者の手を取り、 消しゴム側を使って正しい順を通るように鉛筆を誘導する。 その後鉛筆の先を下にして受検者に返し、 次のように言う:

今度はご自分で試してみてください。1から始め [1を指す] 1からAまで線を引き [Aを指す] 、Aから2へ [2を指す] 、2からBへ [Bを指す] 、Bから3へ [3を指す] 、3からCへ [Cを指す] という風に、順番に、おわりに到達するまで [「おわり」と書いた円を指す] 線を引いてください。飛ばさずに正しい順番で次の数字の円に進んでください。できるだけ速く線を引いてください。用意、始め。

この作業が成功するまで**「次ページの検査課題に進む**]あるいは受検者にはこの作業ができないことが明らかになるまで上記の手順を繰り返す。



受検者にこの作業ができない場合は、 下のチェックボックスを選択してテストを中止する。

受検者はパートBの練習問題を完了で	=
なかった	

パートB: テストトレイル

パートBのテスト 用シートを受検者の前のテーブルに平らに置き、次のように言う:

このページには数字と文字の両方が書かれています。これも同じように行ってください。番号1から始め [1を指す] 1からAへ線を引き [Aを指す] 、Aから2へ [2を指す] 、2からBへ [Bを指す] 、Bから3へ [3を指す] 、3からCへ [Cを指す] という風に、順番に、おわりに到達するまで [「おわり」と書いた円を指す] 線を引いてください。円をとばさず、正しい順序で次の数字の円に進んでください。できるだけ速く作業をしてください。用意、始め。 [すぐに時間を計り始める]



検査者は、受検者の誤りを直ぐに発見できるよう、受検者を注意深く見守る。

受検者が間違えた場合は**速やかに**注意を促して、最後に到達した正しい円に鉛筆を戻し、その地点からテストを継続し、次のように言う。

いえ、こちらに戻って [最後に到達した正しい円を指す] **もう一度やってみてください。**



受検者の誤りを訂正している間、時間の計測を止めないこと。

誤りは、主に所要時間が増えることにより、成績評価に反映される。

受検者がパートBを完了したら、テスト用シートを回収し、完了までの所要時間を次ページに記録する。

トレイル・メイキング・テスト(TM

パートB:採点

完了までの所要時間を(分・秒で)下に記録する。 このパートの制限時間は**300秒(5分0秒)**である。

パートB 完了までの所要時間:

分





下のチェックボックスを選択して、受検者は作業を試みたものの、制限時間内に完了できなかったことを示してください。

試みたが制限時間内に完了できなかった

評価の完了後、 下の受検者の練習用ワークシートの画像を撮影してください

パートB:テスト用ワークシートの画像撮影
評価の完了後、 下の受検者のテスト用ワークシートの画像を撮影してください

備考

概要

D-KEFS文字流暢性検査合計正答数	
第1系列の正答数	
第2系列の正答数	
第3系列の正答数	
D-KEFSカテゴリー流暢性検査合計正答数	
第1系列の正答数	
第2系列の正答数	
WAIS-IV符号 合計正答数	
WAIS-IV 数唱 合計正答数	
数唱順方向	
数唱逆方向	
トレイル・メイキング・テスト(TMT)	
パートAの練習問題は完了したか?	
パートA完了までの所要時間	
パートBの練習問題は完了したか?	
パートB完了までの所要時間	

署名履歴

記入および署名者

氏名 日付/時刻(UTC)

編集および署名者

版番号 氏名 日付/時刻(UTC)